

# ふくしまっ子 津山でのびのび元気回復 春休み親子保養プロジェクト in 阿波

市民団体「さよなら原発ママパパ美作ネットワーク」が事務局団体となって実施する「親子保養プロジェクト」は、東日本大震災による福島第1原発事故のために高放射線量の中で生活を強いられている被災地の親子を美作(岡山県北地方)の地に招き、保養してもらおうというものです。この場合の保養とは、一時的にでも放射能で汚染されている土地を離れ、心身を休ませて健康を保つために活力を養うことを言います。免疫力を高めるために有効な方法と言われています。



2013 春は、保養の地を阿波森林公園キャンプ場に求めたところ、阿波地区の方々のご協力を得る事ができ、保養に来た福島の母子と迎える県内避難家族とスタッフにとって、忘れる事の出来ない1週間になりました。ご支援いただいた皆さんのお力に深く感謝し、以下ご報告します。

## 3/24(日)1日目「出迎え」

津山駅まで出迎え。いわきからの1家族(お母さん・おばあちゃん・3才児・赤ちゃん)は16:15着。伊達からの1家族(お母さん・1年生・赤ちゃん)は0:40着。ロフト付きの1DKバンガローに案内しました。岡山から津山までの山並みに驚いたでしょうが、津山から阿波への山奥感はかなり「来た〜!」感ではないかと思われます。深夜、迎えに行く途中で、2頭の小鹿に遭遇しました。



いわきから津山に移住している方とスタッフで用意した阿波産のおにぎりとみそ汁で長旅をねぎらいました。

## 3/25(月)2日目「歓迎会」

地元(旧阿波村)の方々による歓迎会が公民館で行われました。町内会、婦人会、老人会、津山市阿波支所など、地元の方がたくさん朝早くから準備してくれました。福島からの2家族に加え、一時避難や移住している6家族、ママパパ美作ネット会員など、大人40名子ども20名ほどが集まりました。ペタンペタンと餅つき、ホカホカおこわ、アツアツとん汁、ポンポン米菓子、甘酒などで満腹のうれしい歓迎でした。



キャンプ場バンガローに帰って「避難者支援法」について、子ども全国のHさんからレクチャーを受け、臨時の学習会をしました。子ども将棋をする、子ども達の賑々しい遊び声に負けず、ママパパ達の色々な話がたっぷりできました。窓の外は雪混じりのみぞれでしたが、バンガローの中はみんな心も体もホカホカでした。

福島からの3家族に温泉の無料チケットが阿波町内からプレゼントされました。期間中、3日も通った人もいました。



## 3/26(火)3日目「B級グルメ」

天気が良いので溪流に沿って散歩。福島から津山に移住している1家族の姉(中2)妹(小5)が今日から参加。ご当地B級グルメの蒜山焼きそばとホルモンうどんを作って、夕食はみんな揃っておしゃべりタイム。



### 3/27(水)4日目「老人会との交流・オカリナ作り」

一日雨模様。阿波児童館で老人会の方々と交流。甘酒をすすりながら、遊んだりお話したり、のんびりと過ごしました。午後はオカリナ作り。演奏会と音出し練習の後、オカリナにペイントしました。この日、バンガローを全部借りて、避難家族も宿泊。夕食は地元の方も加わり、ミニ宴会に。



### 3/28(木)5日目「布滝・読み聞かせ」

午前中、バンガローのすぐ上にある茅葺の古民家に住むおじいさんが車を出してくれて、布(のん)滝まで行きました。岩肌を流れ落ちる水は布のように広がり、冷たくておいしかったです。普段、外遊びのできない子ども達にとって最高の一日でした。午後は、読み聞かせがありました。



### 3/29(金)6日目「遊歩道・児童館」

トレッキングコースの中の遊歩道を散歩。散歩といっても、たっぴり1時間、小さな子たちもがんばって歩きました。天候が回復して、外遊びができたので良かったです。また、児童館にも遊びに行きました。隣の幼稚園は3月で休園。その隣の小学校は来年度いっぱい統合されるそうです。子ども達は宝だと、保養の子どもたちを受け入れてくれた阿波に感謝。



### 3/30(土)7日目「溪流釣り・お別れ会」

美作大学ボランティアセンターから学生さんが2名来てくれて、子ども達の学習支援「寺子屋」をしてくださいました。小1・小5・中2の3人が1時間半集中してできました。

10:30～「溪流釣り」をしました。ニジマスを放流して1本さおで釣りました。炭火で焼いて、お腹いっぱいになるまで味わいました。避難の家族6家族と美作大学の学生さん、スタッフなど計30名が楽しみました。

15:00～阿波地区の方々との「お別れ会」がバンガロー隣の溪流茶屋でありました。総勢60名。焼きそば・うどん・みそ汁・おにぎりなど、阿波地区の方が準備してくれました。最後に町内会長さん、保養者、スタッフなどがあいさつしましたが、保養に来た2人のお母さんは涙で声を詰まらせながら感謝の言葉を伝えていました。



### 3/31(日)「最終日」

春休み保養プロジェクトの最終日。津山駅を早朝から出発する保養家族を送って見送りました。1週間はあっという間に過ぎてしまいました。

バンガローの片付けとお礼。近所の方が、ファンヒーター、電気毛布など貸してくれていたのが助かりました。また、洗濯機を貸してくれたり、車を出してくれたり、たいへん助かりました。

保養者のお母さんが次のようなメッセージを残してくれています。

【1週間ありがとうございました。ここに来て、放射能のことが無意識に頭に出てきました。例えば、窓際に子どもの服を置こうとした時、「放射能、窓際、高いよね・・・」等、本当に無意識で考えている自分がいます。それほど、今まで毎日、放射能中心に過ごしてきたんだと実感しました。でも「ここは岡山!」と思い、我に返り、安心します。きっと忘れろと言われても、無理でしょうが、子どもが元気に遊ぶ姿を見て、うれしかったです。みなさんのおかげです。いつも優しく温かく接してくれて、ありがとうございました。私達なりに、がんばって生きて行きます。また、お会いするまで・・・。ありがとうございました。】



### 4/7(日)保養プロジェクト反省会(お花見)のご案内【鶴山公園にて】

第1部 11:00～13:00 サルの段

第2部 17:00～20:00 テント席

各自で飲食を準備してください。雨天中止。

炭火で焼肉をします。集金500円。雨天決行。

夏休み親子保養(7/24～8/6)カンパ受付中【津山信金 本店 0664757】【郵便振替 01350-4-100118】